

IV. 平成27年度後期 南紀熊野サテライト開講授業

1. 大学院授業科目

授業科目名 (英文表記)	紀伊半島の地質とジオパーク (Geology of the Kii peninsula and the Nanki-Kumano geopark)		
単位数	2	授業形態	講義
担当教員	久富 邦彦、此松 昌彦		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回 10月16日(金) 18:30~20:50	担当: 久富	
	第2回 10月17日(土) 10:00~16:00	担当: 久富	
	第3回 10月30日(金) 18:30~20:50	担当: 久富	
	第4回 10月31日(土) 10:00~16:00	担当: 久富	
	第5回 11月6日(金) 18:30~20:50	担当: 此松	
	第6回 11月7日(土) 10:00~16:00	担当: 此松	

【授業のねらい・概要】

紀伊半島の地質の特徴を学び、どのようなストーリーとツアーを考える事ができるのか、ジオパーク運動の一般的な性格との関係で、南紀熊野ジオパークの性格と特徴をどうとらえるべきかを考えます。また、具体的なこれからの運動の進め方についても考えます。

【授業計画】

第1回 「日本列島の生い立ち」

日本列島の地質の基本を押さえた上で、その中での紀伊半島の位置と性格を学びます。あわせて、プレートテクトニクスの基本と、海溝周辺の特徴を学びます。

第2回 「紀伊半島の生い立ち」

紀伊半島の地質の概略と、その中での紀南の地質の特徴を学び、付加体(四十万帯の地層)、前弧海盆(田辺層群と熊野層群)、火成岩(熊野酸性岩類と潮岬火成複合岩類)の性格と特徴を詳しく学びます。

第3回 「紀南のジオサイトとジオツアーを考える1」

南紀熊野ジオパークの中で、どのようなジオツアーを設定することができるか、例をあげて考えます。その1として、白浜周辺の泥岩岩脈と泥岩ダイヤピル、および、それらの周辺の地層を考えます。

第4回 「紀南のジオサイトとジオツアーを考える2・3」

南紀熊野ジオパークの中で、どのようなジオツアーを設定することができるか、例をあげて考えます。その2として、白浜や椿周辺の、田辺層群の地層について考えます。その3として、熊野酸性岩類と潮岬火成複合岩類について考えます。

第5回 「南紀熊野ジオパークの性格と可能性」

南紀熊野ジオパークとは、どのような特徴をもったジオパークなのかを、他のジオパークとの比較や、世界遺産、エコツーリズムとの関係などを考えながら、探っていきます(ゲストスピーカ)。

第6回 「南紀熊野ジオパークのために求められるもの」

南紀熊野ジオパークの取り組みの現状をおさえ、進んだ分野と課題について考えて展望します。また、ジオガイドの活動に求められるものについても考えます。

【到達目標】

南紀熊野ジオパークの基本的な性格を理解し、具体的なジオツアーの計画を作成するための基礎的能力を身に付け、運動の進め方と留意点を理解することをめざします。

【教科書】

なし。必要に応じて資料を配付します。

【参考書】

なし。必要に応じて、講義中に紹介します。

【成績評価方法】

各回に、小テストを行うか、レポートと課すかのいずれかをして、それらの合計で評価します。

【授業時間外学習】

授業ででてきた用語や考え方について、本やネットで調べるなどの復習が重要です。

【履修上の注意・メッセージ】

基礎知識なしでも理解できるよう努めますが、紀伊半島の地質の基礎知識があると理解が深まると思います。